

北日本新聞7月26日15面スポーツのきいを
よんで。

「パパ、新聞をよせてい

ほくは、おぎのうをのしあいを目の前でみそ
きたから、新聞を早く読みたくてたまりませ
んでした。

「ほくは、高おかしようきよう高校が大すそを
す。なぜかというし、おとうさんがそこでや
キやうをしていた高校だからです。それを知
いてから、高おかしようきよう高校がすそに

なつたのです。ほくは、キやうをするのかお
もてる所のでまい日ボレルをなびたり、バス
トスイングをしていきます。

新聞を讀むとせん、手やかんとくの上ほか
いてありました。たが、かんばつたけうがかでたん
たとすくにかかりました。たが、でもこの上ほ
か、こころにのこりました。

「きようは、きよう。あすからまたちあうせん
かか、はじまる。目でようほ、あままで日本
です。」

「ほくもさいごまであきらめないさんばかり
ムでやきゅうをしたいです。そのためには、
一生けんめいやきゅうのれんしゅうをしない
といけません。」

8月におとうさんとごおねえちゃんと高お
かしようきゅう高校のしをみにこうしえん
まで行きます。一回せんはどことたいせんす
るかとてもたのしみです。新聞のしやしんに
ものっていたけど、せん手のえがおとせん手
かだキョウで、ひとさいしゆびをあげてよろこ
ぶすがたをほくはと山けん大会のけりばよう
びみました。そのこうけいも、こう子團の
うまむいまためたいです。